

# 安全の手引き

在パラグアイ日本国大使館

(2021年6月21日改訂)

I	はじめに	1
II	防犯の手引き	1
	1. 犯罪発生状況	1
	2. 犯罪の傾向	2
	3. テロ・誘拐等（一般論）	2
	4. その他	2～3
III	安全のための心構え	3
	1. 基本的心構え	3
	2. 安全他のための心構え	3～4
IV	緊急事態対処マニュアル	5

## I はじめに

パラグアイは、ボリビア、アルゼンチン及びブラジルと国境を接することから、違法薬物の流通経路となっています。また、サン・ペドロ県、コンセプション県及びアマンバイ県の県境周辺では、パラグアイ人民軍（EPP）を名乗る反政府組織が、大規模農場経営関係者や治安当局員を誘拐し、身代金を要求する事件が発生しています。また、近年は世界各地で内乱やテロ事件、大規模自然災害等が発生しています。一般犯罪の被害に遭わない対策を取ることは勿論のこと、このような緊急事態に対処できるよう、常日頃から最新の情報を入手し「自分の身は自分で守る」という意識を持つことが大切です。

### 在留届、たびレジ登録のお願い

- 「在留届」は、緊急事態発生時等において、大使館から緊急連絡等を行うための重要な基礎資料となり、旅券法により海外に3か月以上滞在する場合は、大使館・総領事館へ「在留届」の提出が義務付けられています。（手続きは下記URLの他、書面で行うこともできますので、詳しくは当館領事班（+595 21 604 616（代））へお問い合わせください。）
- 「たびレジ」に登録すると、旅行等、短期滞在時に安全のための緊急情報等をメールで受け取ることができます。旅行等の場合は、忘れずに「たびレジ」への登録をお願い致します。

在留届（帰国や転居等の内容変更もこちらから）

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>

たびレジ

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

## II 防犯の手引き

### 1. 犯罪発生状況

年	殺人		傷害	暴行	性犯罪	強盗	窃盗	合計
	既遂	未遂						
2018	457	864	1,720	4,104	748	2,432	7,833	18,158
2019	505	905	1,818	3,831	731	2,930	8,212	18,932
2020	431	759	1,401	2,673	563	2,397	6,250	14,474

※出典：パラグアイ国家警察庁独自統計

上記統計はあくまでも国家警察庁独自の統計数値であり、他罪種を含め、実際にはこれ以上の発生があると考えられます。

## 2. 犯罪の傾向

### (1) バス車内における被害

スリ被害や痴漢被害に遭う可能性があります。また、強盗犯がバスに乗り込み、凶器を示して運転手や乗客の金品を強奪する事件が発生しています。

### (2) モトチョーロス被害（バイク強盗）

主に、都市部において多発し、オートバイ乗車の2人組による犯行が顕著です。犯人はナイフや拳銃を所持しており、歩行者や赤信号停車中の車両に対して凶器を示して所持品を強奪する手口です。時には拳銃を発砲することもあります。

### (3) 空き巣被害

マンションや戸建てを問わず、空き巣被害の多くが、使用人や警備員等、身近な人間の手引きにより発生していると言われてしています。

### (4) ATM強盗

ATM等から現金を引き出した後、店舗を出たところを複数人で取り囲み、凶器等を示して現金等の所持品を強奪する事件が発生しています。

### (5) アスンシオン市における危険地帯

アスンシオン市セントロの通称チャカリータ地区及びバニヤード・スル地区には、多くの犯罪者が潜伏しているとされ、違法薬物等の闇取引の温床となっています。特にチャカリータ地区は警察でも単独では立ち入らない地区です。

## 3. テロ・誘拐等（一般論）

(1) これまで、パラグアイにおいてテロと認められる事件は発生しておらず、国内におけるテロ組織も報告されていません。また、パラグアイ国家警察庁によれば、2019年中の誘拐事件は2件が認知されています。

(2) サン・ペドロ県、コンセプション県及びアマンバイ県の一部には、パラグアイ人民軍（EPP）と称する反政府組織が活動しており、身代金目的の誘拐事件等を引き起こしています。現在まで、日本人が標的となっている可能性は確認されていませんがEPPの活動状況には常に注意を払う必要があります。

(3) パラグアイ、ブラジル、アルゼンチンと国境を接している三国国境地帯は、パラグアイ側の国境管理が脆弱であり、かつ三国間の連携が十分でないことなどから、組織犯罪関係者が容易に出入国できる環境であると言われてしています。また、アルト・パラナ県シウダ・デル・エステ市及びブラジル側のフォス・ド・イグアス市には、イスラムコミュニティがあり、その中の一部にはイスラム過激派へ資金援助をしている者がいるとの情報もあります。

## 4. その他

### (1) 国境エリア付近

特にブラジルと国境を接する地帯は、麻薬密売組織の密輸ルートとなることから、麻薬組織間の抗争事件が頻発しています。

## (2) 地方都市

アスンシオン市に比べると一般犯罪の発生率は低くなりますが、国道から外れると、麻薬組織の大麻違法栽培エリアに入り込んでしまう可能性があります。

## (3) ボリビア・アスンシオン間のルート

ボリビアとアスンシオン間のルート（ボケロン県、プレシデンテ・アジェス県）の土壌は、水はけが悪く降雨による道路の冠水が頻発し、車両が立ち往生することがあります。周囲に物資を調達できる商店等は殆どありません。

## (4) 交通事情

インフラ整備が脆弱であり、降雨時には路面の陥没や信号機の滅灯等が多発します。また、交通法令の遵守に乏しく、1部の報道によれば、交通違反者のうち2割近くが飲酒運転と言われています。

## Ⅲ. 安全のための心構え

### 1. 基本的心構え

(1) 家族や会社の同僚と、常に連絡を取れる体制を取っておいてください。

※ 自分や家族の安全は、自分たち自身で守るとの心構えを。

(2) 出勤や帰宅の際、時間帯やルートは時々変えるよう努めてください。

銀行から車が出た際等、後方も確認しながら走行してください。

※ 犯人が後ろから追尾してきている場合があります。

(3) 新聞、テレビ、大使館のホームページなどで、現在、どのような犯罪が発生しているかを知るように努めてください。

□ 大使館ホームページアドレス

[https://www.py.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.py.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

### 2. 安全のための心構え

#### (1) 住宅

① 住む場所の安全対策は、生活の基礎となるので、ホテルや住宅選びは、安全性を優先しましょう。

② 周囲に照明があることや、地域の治安状況、周辺環境も確認しましょう。

③ 外壁の高さ、施錠設備、窓柵等を確認しましょう。

④ 訪問者は、必ず覗き窓等で相手を確認し、扉を閉めたまま用件を聞くようにしましょう。

⑤ 家への出入りや、エレベーターに乗る前には、周りに不審な人がいないか安全を確認しましょう。

#### (2) 外出

① 高価な貴金属等は、なるべく身に着けないようにしましょう。

② 公共バス内では眠らないようにし、持ち物から目を離さないようにしましょう。

③ 銀行や金融機関に出入りする客を狙った強盗事件も多く発生しています。大きな

ショッピングセンター内にある金融機関を利用する、現金を引き出した後は、周囲を注意深く確認する、お金を引き出した後は直ぐに外に出ず、時間をつぶした後に退店すること等を心がけましょう。

- ④ アスンシオン市セントロ地区にあるチャカリータ地区やバニヤード・スル地区等、危険と言われている場所には昼間であっても近付かないようにしましょう。
- ⑤ 移動中等、不審なオートバイが近付いてきていないか、周囲の状況を常に確認するようにし、警戒の意識を保ちながら行動しましょう。夜間の一人歩きは避け家族に迎えに来てもらう、信頼できるレストラン等から呼んでもらったタクシーを利用する等の対策をとりましょう。
- ⑥ 路上で現金や携帯電話等の貴重品は見せず、また、現金やクレジットカードは必要以上に持ち歩かず、なるべく複数のポケット等に分散して持つようにしましょう。
- ⑦ 万が一、凶器を使用した強盗等に遭遇した場合でも、**絶対に抵抗しない**ようにしましょう。
- ⑧ 車両への乗り降りの際は、周囲を確認するようにしましょう。また、走行中はドアをロックし、できるだけ窓も閉めておくようにしましょう。貴重品は車内に残さず、外から見える場所に物を放置しないようにしましょう。
- ⑨ パラグアイは、銃器の入手が比較的容易であるため、護身用に拳銃を持ち歩いている人もいます。万が一、発砲事案に巻き込まれた場合は、身を伏せる、姿勢を低くして速やかにその場から離れる、硬い障害物に身を隠す等して自分を守るようにしましょう。

### (3) 生活

- ① 日頃から地域社会に溶け込み、ご近所の方とも情報交換をしましょう。
- ② 振り込め詐欺（オレオレ詐欺）の被害に遭わないため、家族、職場の同僚とは、いつでも連絡できるようにしておきましょう。犯人は、「焦らせる」「急がせる」ことのプロです。振込みは、必ず家族や会社同僚に確認をしてから行うようにしましょう。
- ③ 路上生活者や物売りは、相手が子供であってもナイフ等の凶器を持っている場合があります。決して油断しないようにしましょう。
- ④ 休暇等で自宅を空ける際は、家族や信頼出来る友人等へ、行き先を伝えるようにしましょう。
- ⑤ 電話の側等に、緊急連絡のリストを準備し、いつでも連絡できるようにしておきましょう。

# IV 緊急事態対処マニュアル

## 平素の準備と心構え

- ・**在留届の提出**  
～3ヶ月以上滞在する場合は必ず提出をお願いします。
- ・**たびレジの登録**  
～登録しますと、海外旅行・出張の際等に大使館からの緊急一斉通報メールを受け取ることができます。
- ・**連絡体制の整備**  
～緊急連絡網は最新版ですか？
- ・**ラジオ等情報入手方法の確保**  
～ラジオ等の準備
- ・**避難場所の確認**  
～日頃から緊急時の避難場所を確認しておいて下さい。
- ・**携行品及び非常用物資の準備**  
～旅券等貴重品はすぐに持ち出せますか？  
～飲料水、非常食、医薬品、懐中電灯等の非常持出品を準備していますか？



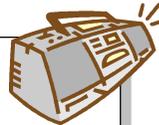
### <緊急避難場所>

- 現在地が
- ・アスンシオン市に近い場合  
→在パラグアイ日本国大使館
  - ・セントラル県イタグア市に近い場合  
→セントロ日系運動施設
  - ・パラグアリ県ラ・コルメナ市に近い場合  
→ラ・コルメナ日本文化協会会館
  - ・アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市に近い場合  
→アマンバイ日本文化協会会館
  - ・イタプア県エンカルナシオン市に近い場合  
→エンカルナシオン日本人会会館
  - ・イタプア県チャベス移住地に近い場合  
→チャベス日本人会会館
  - ・イタプア県ラ・パス移住地に近い場合  
→ラ・パス日本人会会館
  - ・イタプア県ピラボ移住地に近い場合  
→ピラボ日本人会会館
  - ・アルト・パラナ県イグアス移住地に近い場合  
→イグアス日本人会会館
  - ・アルト・パラナ県エステ市に近い場合  
→エステ日本語学校



## 緊急時の行動

- ・**基本的な心構え**  
～緊急事態が発生した場合に備え、普段から様々な情報の収集に心がけ、そのために、緊急時の連絡方法の確認や確保等に努めて下さい。
- ・**情報の把握**  
～緊急事態が発生した場合、様々な情報が出回りますので、デマや噂に惑わされず、まずは自分が所属している団体等から正確な情報を入手して下さい。
- ・**大使館(領事事務所)への通報依頼等**  
～自主退避した場合は、必ず避難先、安否等の連絡を大使館等へお願いします。また、可能であれば現場の状況を教示願います。
- ・**国外への退避**  
～パラグアイと国境を接しているブラジル、アルゼンチン、ボリビアへの入国にビザは必要ありませんが、新型コロナウイルスに関する入国制限についてあらかじめ確認が必要です。



◎NHKの短波ラジオの周波数  
(NHKワールドラジオ日本)

・周波数 12025kHz (05:00～07:00)

※ 放送時間は、パラグアイの現地時間です。  
(サマータイム時は、放送時間が1時間早まります。)

### <緊急時に備えてのチェックリスト>

1. 旅券は6ヶ月以上の有効期限がありますか？
2. 現金、貴金属、クレジットカード等はすぐに持ち出せますか？
3. 自動車等は長距離走行が可能ですか？
4. 携行品(衣類、履き物、洗面具、非常食、医療品等)はすぐに持ち出せますか？
5. ラジオ(電池式)は持っていますか？
6. 懐中電灯、ライター、ナイフ、缶切り、割り箸等を準備していますか？

デマ等に惑わされず、まず  
落ち着いて行動を！

○在パラグアイ日本国大使館

021-604-616

○在エンカルナシオン領事事務所

071-202-287

○救急……………141

○警察……………911



## 主要緊急連絡先

- 在パラグアイ日本国大使館  
TEL: 021-604-616  
FAX: 021-606-901
- 在エンカルナシオン領事事務所  
TEL: 071-202-287  
FAX: 071-205-130
- JICAパラグアイ事務所  
TEL: 021-608-400  
FAX: 021-608-406
- アスンシオン日本人学校  
TEL: 021-660-499  
FAX: 021-660-499
- パラグアイ日本人会連合会  
TEL: 021-555-213  
FAX: 021-555-770
- パラグアイ日本商工会  
TEL: 021-613-533  
FAX: 021-613-533
- 日系農業協同組合中央会  
TEL: 021-509-525  
FAX: 021-509-527
- 内山田ホテル  
TEL: 021-222-038  
FAX: 021-223-175
- NIPPA TRAVEL  
TEL: 021-600-391  
FAX: 021-665-232
- NIPPON TOUR  
TEL: 021-623-360  
FAX: 021-623-361

### 日本人会等連絡先

- アスンシオン日本人会  
TEL: 021-553-357  
FAX: 021-559-563
- アマンバイ日本文化協会  
TEL・FAX: 0336-272-529
- イグアス日本人会  
TEL: 0632-20-243  
FAX: 0632-20-468
- エステ日本人会  
TEL・FAX: 061-570-037
- ラ・コルメナ日本文化協会  
TEL・FAX: 0537-223-355
- セントロ日系  
TEL・FAX: 021-608-736
- アマンバイ県カピタン・バド支部  
鈴木部長宅: 0337-230-412
- 福祉センター(フェルナンド・デラ・モラ)  
TEL: 021-513-479

- エンカルナシオン日本人会  
TEL: 071-202-268  
FAX: 071-202-267
- ピラボ日本人会  
TEL: 0768-245-223  
FAX: 0768-245-371
- ラ・パス日本人会  
TEL・FAX: 0763-20-009
- チャベス日本人会  
TEL・FAX: 0213-271-477